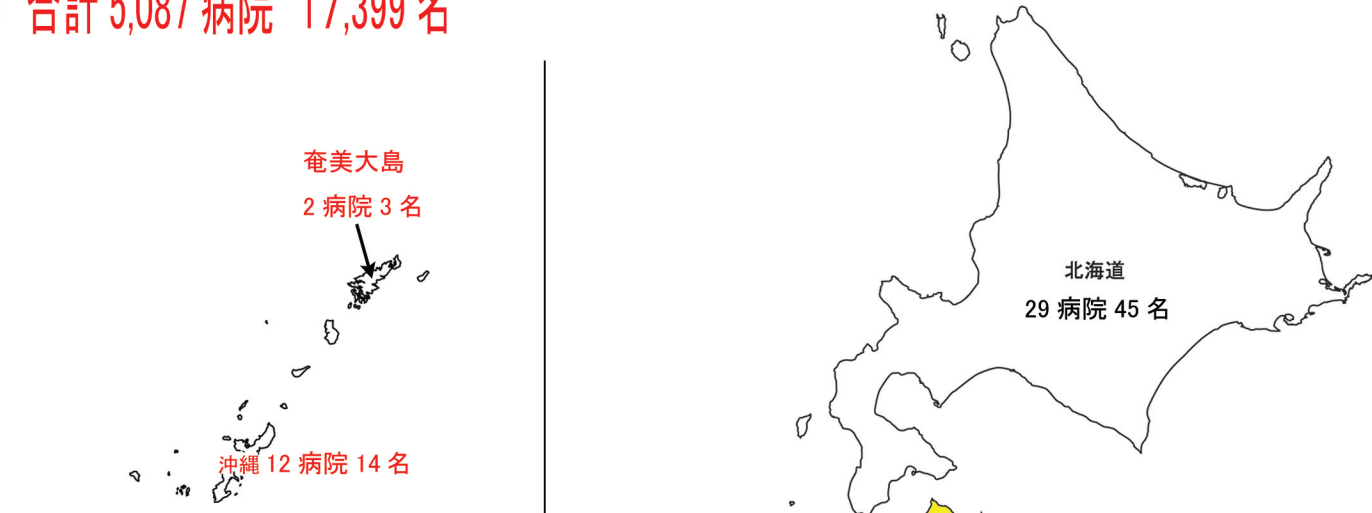


私立医科大学における地域医療体制に関する調査

当該大学から医師を派遣している教育・診療連携病院の病院数と医師数について（総数）

29大学 合計 5,087病院 17,399名

（平成23年1月現在）



厚生労働省大臣官房統計情報部

平成20年「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」

（平成20年12月31日現在）より、

都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する

人口10万対医師数が少ない県10番目までの県を

黄色で表示した。また、同概況の

人口10万対医師数を青色で記載した。

人口10万対医師数の
全国平均は212.9名

65病院 163名
岐阜県人口10万対
医師数177.8名

106病院 366名
石川

65病院 217名
富山

39病院 57名
福井

20病院 38名
長野

8病院 12名
山梨

49病院 114名
岐阜

15病院 19名
島根

37病院 62名
岡山

125病院 337名
山口

7病院 9名
福岡

248病院 578名
佐賀

25病院 34名
大分

10病院 14名
熊本

16病院 43名
宮崎

12病院 14名
鹿児島

17病院 28名
鹿児島

17病院 29名
長崎

13病院 18名

地域拠点病院として不可欠である私立医科大学附属病院分院は主に医療過疎地に分布しており、地域医療への貢献と同時に、複合的疾患に対応できる各診療科の連携体制を確立している。また、診療だけでなく「教育研究」、「卒前・卒後教育」、「生涯教育」の拠点として、本院と分院で連帯し、分院を含めた「大学病院群」としての高次機能の役割を果たしている。

当該調査結果は、私立医科大学（医学部）が社会に対して医師派遣の形をもって、地域医療体制の維持・向上に貢献していることを明確にするとともに、文部科学省「今後の医学部入学定員の在り方等に関する検討会」に資料として提出することとしている。